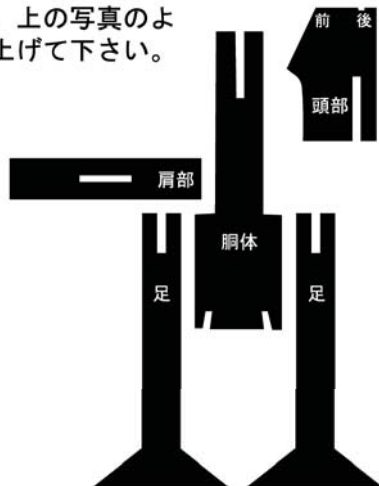


# 甲冑の飾り方



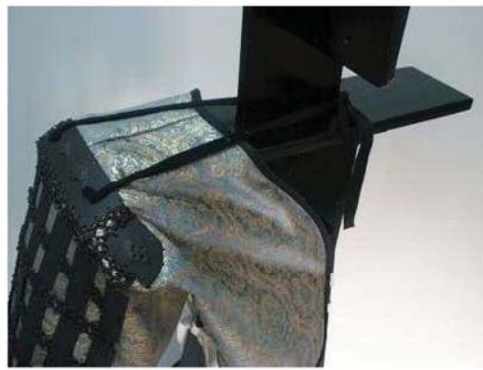
(1) 鎧立を組立て鎧櫃の上におき佩楯を着ける

◆鎧立は5つのパーツで出来ています。  
切り欠き部分を合わせて  
いただき、上の写真のよ  
うに組み上げて下さい。



(2) 籠手（腕）に新聞紙をまるめてふくらみを持たせ右より鎧立に取り付ける臍当も同様に新聞紙をまるめてふくらみを持たせる。

◆籠手の肩口の紐を鎧立の首部に結びつける



◆籠手の紐を鎧立の足の付け根に結びつける。



(3) 左の籠手を付ける。

◆左も同様に結びつける。







(4) 胴の右側の部分に針金の棒があるのでそれを蝶番に差込み胴をつなぐ。胴を鎧立に付ける。



(5) 袖を付ける。  
面頬を付ける。面頬の高さは面頬の紐で調整し鎧立にかける



(6) 兜をのせ面頬を顎紐で整え腹帯を締め、臍当を置く。  
臍当は革の部分を内側にしておく。  
顎紐の結び方は蝶結びでかまわない。

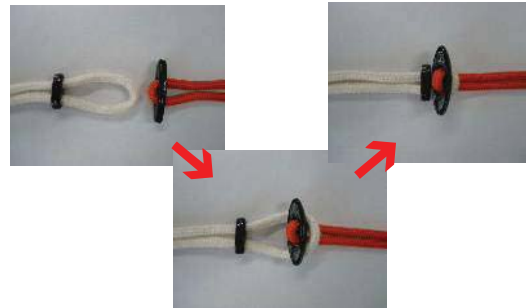
◆右脇部分の前後を紐で結びつける



◆高紐（肩部分）を鞋（コハレ）で取付前胴と後胴を結合させる。



◆高紐・袖の鞋の取付方法



◆袖の金具を肩の裏にある輪に通し、鞋で締める



◆面頬を鎧立の切り込み部に引っかける

